

## 平成29年3月、西鉄電車11年ぶりとなる車両モデルチェンジ！ 天神大牟田線に新型車両「9000形」導入 ステンレス地にロイヤルレッドの外観が特徴の通勤型車両

- 西日本鉄道(株)では、平成 29 年 3 月より天神大牟田線に新型車両「9000 形」を導入いたします。
- 9000 形は、既存の 3000 形車両をベースに、安全性やサービスの向上および環境にやさしい省エネルギー化を図った通勤型車両です。側出入口は片側 3 扉、座席は全てロングシートとし、現在の主力車両である 5000 形車両との代替を計画しております。
- 外観デザインの特徴として、車体側面にロイヤルレッドの帯を配置することで、歴代の車両でも多く使用されている“赤帯”の DNA を継承しつつ、先頭部では貫通扉をカラーリングの基軸として縦のラインを強調することで、前に進む力強さと次世代車両としての新しさを表現しています。また、車内は白を基調とした明るく清潔感のある色調とし、各部にガラスを積極的に採用することで、見通しの良い開放的な車内環境を創出いたします。
- 車内の安全設備につきましては、ロングシート中間部へスタンションポール(縦手すり)を増設したほか、分かりやすく一般部と識別化した優先スペースの全車両への設置や扉開閉動作ランプの新設など、バリアフリー機能の拡充も行います。
- お客さまへの案内機能向上のため、乗降口上部に 4 ヶ国語表記(日・英・中・韓)に対応した車内案内表示器を 2 画面ずつ設置するほか、車外行先表示器にフルカラーLED 表示器を採用し、行先や種別の視認性向上を図ります。
- 環境負荷低減のため、主要な電気機器に次世代半導体素子を使用したインバータを採用したほか、全ての照明装置を LED 化することなどにより、既存車両よりさらなる省エネルギー化を図っております。
- 新型車両 9000 形は、平成 29 年 3 月に 10 両、平成 29 年度までに計 18 両を導入する予定です。西鉄電車における車両のモデルチェンジは、平成 18 年 3 月の天神大牟田線 3000 形以来 11 年ぶりとなります。沿線に、環境に、そして未来に夢を描く、新型車両 9000 形にご期待ください！



## ■ 西鉄天神大牟田線 新型車両「9000形」の概要

【車 両 形 式】 9000 形

【運行開始時期】 平成 29 年 3 月予定

【導入車両数】

導入年度	平成 28 年度	平成 29 年度	計
3 両固定編成	2 編成(6 両)	2 編成(6 両)	4 編成(12 両)
2 両固定編成	2 編成(4 両)	1 編成(2 両)	3 編成(6 両)
計	4 編成(10 両)	3 編成(8 両)	7 編成(18 両)

【運 行 路 線】 天神大牟田線全線

【運 用 方 法】 主として急行・普通電車で運用

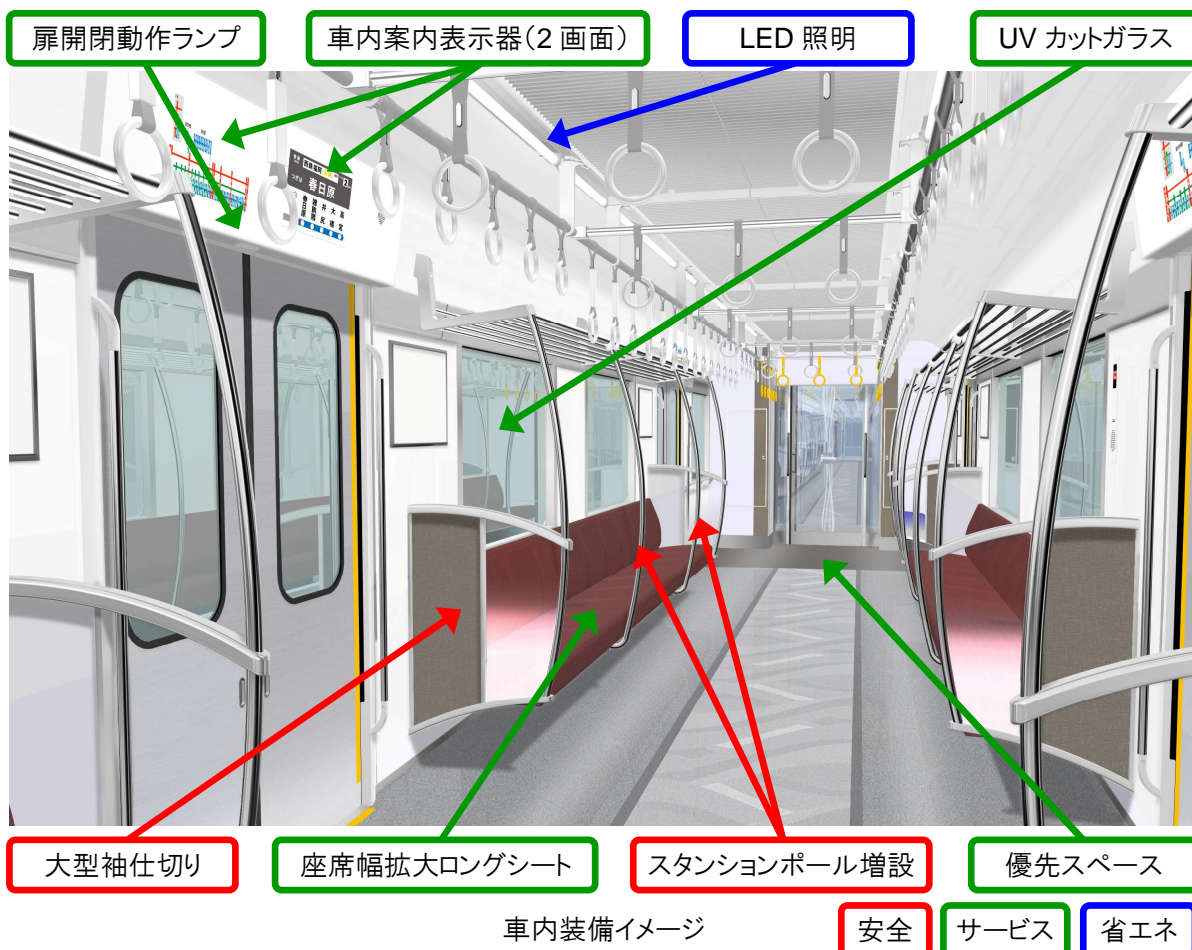
【制 作 会 社】 川崎重工業株式会社

【車 両 の 特 徴】 <<デザイン>>

- ・先頭部は貫通扉をカラーリングの基軸として縦のラインを強調することで、前に進む力強さと次世代車両としての新しさを表現しています。
- ・歴代の車両でも多く使用されている赤帯をモチーフに、ロイヤルレッドの帯を車体側面に配置し、落ち着いた外装としています。
- ・新しい西鉄の通勤電車として、座席横の仕切り部、連結部分の扉にガラスを採用し、床敷物に大きな柄をつけることで、既存車両とは異なる車内イメージとしています。

<<安全>>

- ・お客さま同士の衝突を防止するために大型袖仕切りを採用したほか、スタンションポール(縦手すり)の増設をし、お客さまの安全性を向上させています。
- ・各車両に床・吊革の色を変更して識別化した優先スペース(車イス、ベビーカースペース)を設置し、扉開閉動作ランプを設置するなどバリアフリー設備の拡充を行っています。
- ・ホームから線路への転落防止のため車両連結部に転落防止幌を設置し、幌が設置できない先頭車同士の連結部では音声による注意喚起放送を行います。



車内装備イメージ

### 《快適》

- ・車内各扉上部に液晶画面を 2 画面設置し、4 ヶ国語(日・英・中・韓)による多彩な案内や車内広告の表示など、より細やかな情報をお客さまに提供いたします。
- ・車両前面および側面の車外行先表示器にフルカラーLED 表示器を採用し、行先や種別の視認性向上を図ります。
- ・窓ガラスに UV カットガラスを採用いたします。
- ・一人あたりの座席占有幅を既存車よりも拡幅し、より快適に座っていただける座席としています。



近傍路線案内時画面イメージ



駅設備案内時画面イメージ

### 《環境》

- ・主要な電気機器(車両制御装置、補助電源装置)に次世代半導体素子「SiC」を適用したインバータを採用し、前照灯・尾灯・車内照明などすべての照明装置を LED 化することで、既存 5000 形と比較し約 50%の省エネルギー化を図っています。
- ・車体材質に 3000 形と同様のステンレスを採用し、軽量化による消費電力削減及び、塗装作業の削減による環境負荷の低減を図っています。

### 【主要機器比較】

車両形式	新型 9000 形	3000 形(既存車両)	5000 形(既存車両)
車体	ステンレス製	ステンレス製	鋼製
扉数	片側 3 扉	片側 3 扉	片側 3 扉
座席形式	ロングシート	クロスシート	ロングシート
定員 (先頭車/中間車)	124 名/137 名	118 名/131 名	131 名/142 名
スタンションポール (先頭車/中間車)	9 本/11 本	—	4 本/4 本
座席占有幅	470mm/人	455mm/人	450mm/人
窓ガラス	安全ガラス (UV カットガラス)	安全ガラス (熱線吸収ガラス)	安全ガラス
優先スペース (車いす・ベビーカー)	全車両に 1 箇所ずつ	先頭車両に 1 箇所ずつ	先頭車両に 1 箇所ずつ
制御方式	VVVF インバータ制御 回生ブレーキ (SiC 適用インバータ)	VVVF インバータ制御 回生ブレーキ	抵抗制御 発電ブレーキ
補助電源装置	静止型インバータ装置 (SiC 適用インバータ) 3 相 AC200V 60Hz 120kVA × 1	静止型インバータ装置 3 相 AC200V 60Hz 105kVA × 1 / 70kVA × 1	電動発電機 3 相 AC200V 60Hz 120kVA × 1
照明装置(前照灯)	LED	HID	シールドビーム
照明装置(室内灯)	LED	蛍光灯	蛍光灯
車外行先表示器	フルカラーLED 表示器	方向幕	方向幕
車内案内表示器	17 インチ液晶画面 (12 画面/両)	20 インチ液晶画面 (2 画面/両)	—

この件に関するお問い合わせは、西鉄お客さまセンター(TEL0570-00-1010)まで